

少子化対策特別委員会

農山村における総合的な少子化対策を求める意見書(国会等へ)

農山村に住む私たちには、生き残りをかけた少子化対策と雇用の場、安定した収入確保が必要不可欠です。日本国経済は東京を中心とした都市集中型の経済体制ですがこのまま推移すると都市も地方も全部が崩壊してしまいます。

子どもや親への子育て支援対策について十分な予算措置が必要ですが、支援項目は充実してまいりました。国では実質的な関係予算を減少させ地方に負担を押しつけるなど、真に国を挙げて少子化対策に取り組んでいるとは言えません。地域や社会の子育て環境を整備し総合的な子育て対策を展開するよう政府並びに国会に対して強く要望します。

- 1 第1次産業を見直し食糧の自給率を高める政策をとること。
- 2 雇用の場確保のため企業は生産を国内にシフトし国はその支援策をとること。
- 3 子どもや親への子育て支援対策に十分な予算措置をとること。
- 4 児童手当を就学が終了する年齢まで引き上げ支給額を増やすこと。
- 5 出産・医療等の負担を軽減すること。
- 6 子どもを預けやすい保育サービスの充実を図ること。
- 7 仕事と家庭の両立支援を促進すること。



議員発議による意見書等

特別委員会の取り組みをお知らせします。(要約)

バス交通対策特別委員会

地域住民のバス路線維持及び生活交通路線確保を求める決議(町へ)

バス路線の廃止は高齢者や学童、障害者など自ら交通手段を持たない交通弱者の生活の足を奪うことにもなり、地域の活性化にも大きな影響が生ずる。

よつて、町は次の事項を実現することで、総合的バス利用の促進と生活交通の確保対策の確立を図りたい。

- (1) 既存のバス路線を維持することを基本に、総合的バス利用について「(仮称)バス利用対策協議会等」を組織して検討する。
- (2) 生活交通の確保対策として、県が広域的、幹線的なバス路線について、地方公共団体に対して補



バスは大切な交通手段です

助を実施する場合、赤字路線を多く抱える町村部の実態を調査し補助対象範囲の拡充を図るよう要請する。

(3) 住民に対して積極的にバス利用についてPR活動を行うこと。

あの質問はどうなりましたか? 乗り物編です。

スクールバス

19年3月定例会 予算委員会での質問

Q 20年度 馬淵小学校の五日市小学校統合に向けたスクールバスの規格は。

A 29人乗りのバスを買いいます。



馬淵小学校のお友達
楽しみに待っていますね。

除雪車

19年6月定例会 本会議での質問

Q 古い除雪車を希望者に売り払う考えは。

A 下取りで更新を検討する



除雪作業をがんばっているから協力してね。

表紙紹介

スノーワンダーランド

くずまき高原牧場を主な会場として酪農体験を軸とした「人と人」「人と動物」との交流体験を通して、仲間との関わり方や命の大切さについて学びます。今年で8回目です。参加者29名。ホームステイで葛巻の暮らしや人の温かさを知ることが出来ます。(中村さん・川崎さんファミリー)



表紙の答えイグルー(かまくら)